

## エッセイ

### 色葉句へど・・・

#### 歴史に想う事【1】

宮下 元

ゲンさんの幻想エッセイ

一応、101歳まで元気で長生きしたいと願っているが、どうなるやら。少なくとも残りの人生を楽しく明るく過ごしたい。趣味人生に生きることにした。趣味は歴史と連珠（いわゆる五日並べ）。歴史研の皆さんとお付き合ひできるのはなよりの喜びである。

#### ◆古代日本史は百説状態

昔、会社で宇宙の誕生から日本人誕生迄まとめたことがある。『宇宙と生命』の題で講演録集として製本化した。次に中国の古代を知りたくて、宮城谷氏の歴史小説をあさった。ありありとよくわかる。

じゃあ、我が国古代日本はどうだったのか？と本を読むと、学校で習った歴史とは違うし、読む本毎に説が異なっている。百説状態である。本当の日本が知りたくて、今、古代日本の追求に嵌っている。古代日本史をやると、何が正しいかますますわからなくなる。そこで基本を押さえようと少し遠回り 시작했다。一つは言葉、特に地名と氏名の由来論。もう一つは、人類進化と日本列島人論である。なにしろ、自分なりでもいいから理解したいのである。

#### ◆日本列島人と呼ぶべきか

我々は『日本人』『日本民族』と言われるが、ルーツはどうなっているのだろうか。弥生時代以前は文字情報が無い（出土していない）時代、つまり、『先史時代』である。出土物から類推するしかない。もちろん、考古学の世界である。考古学も歴史の一部である。

考古学から見ると、どうも、日本人は一つの民族ではなさそうである。混血・融合民族と思われる。それも長年にわたり、五月雨式に次から次へと渡来してきている。都度、淘汰されたというより融合に近い。時代的にも地域的にも統一されてはいない。時には、火山火砕流・地震津波・冷害餓死で何度も絶滅しかけている。単純に『日本人』とは呼べない。だから、『列島人』と呼ぶことにしたい。

#### ◆縄文時代は二万年間で、縄文人は列島でほぼ均一

一万三千年前に陸続きが無くなったのが、縄文時代である。島国になったせいが大規模渡来が少ないようだ。丸木舟で移動・往来はしていたようだ。地域差はあるが交流はしていた。では縄文列島人が先祖なのか？ごく近來の遺伝子分析によると、現代日本人の12〜20%が縄文人由来だそうである。つまり大半は弥生時代以降の渡来である。

#### ◆列島渡来は三万八千年前

では、縄文以前は？昨年五月に旧石器の話を発表させていた

いた。少なくとも三万八千年前に我々ホモ・サピエンスが列島に到来している。北のみが陸続きだったが、初めは琉球列島伝いに丸木舟で黒潮をわざわざ乗り切ってきた冒険家である。石器からみると、後半にはシベリヤ由来の『細石刃石器』（さいせきじん：槍先石器で細かい石刃をカミソリ状に嵌め込んだ物）が多いので北からも大型獣を追って到来している。狩猟移動民であり、氷河期を生き延びてきた。石器進化から見ると、結構賢く工夫家・冒険家である。氷河期が終わり、列島に残された石器時代人が、縄文列島人になったと類推される。まだ列島人の遺伝子分析数が僅かなのでこれからわかってくるだろう。

#### ◆列島人の特徴は「融合」精神

歴史の基本は栄枯盛衰である。有名なイロハ歌の出だし『いろはにほへとちりぬるを』の意味は、栄華は続かず散ってしまふ、と解釈されている。『イロハ順』は明治時代まで日本語学習の基本であった。では、列島人の基本的特徴と言えば、私は『融合精神』だと思う。しばらく、本書の片隅に、

私見ながら歴史の基本を絡めた私の想いを綴っていききたいと思う。

【筆者紹介】 戸塚区在住で平成21年に入会。現在、横浜歴史研究会の監事をされています。趣味とボランティア生活に没頭されているとことです。ご本人命名、『傾聴ボランティア』。

石垣島石器人の復元顔（沖縄県立埋蔵文化財センター作成）



(出典：国立科学博物館)